

## 第20期第3回練馬区男女共同参画推進懇談会 委員意見と対応等

## 1 評価報告書(案)の修正案について

頂いた意見を基に、懇談会意見欄について以下の修正案をお示しします。

| 意見                                                                             | 修正案                                                                                                   |
|--------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目標 施策4「メディアにおける人権の尊重」について、現実は大人の誹謗・中傷が大きな問題ではないか。「特に、青少年や子ども」と強調する必要性について知りたい。 | 昨今、SNSによる誹謗中傷やいじめが大きな社会問題となっている。特に、青少年や子どもにとつてのみならず大人にとっても、大きな問題である。メディア・リテラシーや情報モラルについては積極的に啓発してほしい。 |
| 目標 指標「職場において男女平等と感じている区民の割合」の数値の低さについて、原因の分析が必要である。                            | 以下の意見を追記<br>・「職場において男女平等と感じている区民の割合」の数値の低さの原因を分析する必要がある。                                              |
| 目標 全体の意見に「厳しいのは女性だけではない」とあるが、まだ女性と男性は平等の状況にない。その点を踏まえた場合、この表現に違和感がある。          | 同意見の削除                                                                                                |

## 2 委員意見・質問への説明

| 意見・質問                                                                                          | 説明                                                                            |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 点数化した結果を区はどう捉えているのか知りたい。                                                                       | 区の自己評価については、計画の実施状況としてお示ししました。委員の皆様には、実施状況にかかわらず、施策としての評価をいただくものとなります。        |
| 三段階評価について区の自己評価の基準が分からない。数値化することは、見る側にとっては分かりやすいが、正確性に欠ける。                                     | 点数化により、ABC評価と比較して満点との差が明確になると考えています。不足部分は、懇談会からの意見に示されていると捉え、今後の取組に反映させていきます。 |
| 個人としては、審議会等委員は適材適所に配置されるべきで男女比で決めるものではないと思っているが、男女共同参画施策を進める行政としては、今後も女性登用の比率を数字で求めていくことになるのか。 | 第5次計画では指標として目標を定めているため、数値で表していきます。                                            |

|                                                                                                         |                                                                                                                                                  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>令和元年度はコロナ禍の影響を受けていたと思われる。対応や影響を踏まえた評価をしなくてよいのか。また、第4次計画はあくまで平常時の計画であり、今後は、個々の事業の強化が求められるのではないかと。</p> | <p>令和元年度の実施状況については、第2回会議資料1にてご説明したように、年間計画が未達成となった事業はありません。</p> <p>令和2年度は、コロナ禍の中、事業内容の変更などを行いながら目標に向かって事業を進めています。次年度の懇談会の中で評価をいただきたいと考えています。</p> |
| <p>評価報告書を各部署へフィードバックすることだが、その後の活用状況等について知りたい。現場の反応も懇談会として把握できると望ましい。</p>                                | <p>今回の評価内容については、第5次計画に基づいた事業を進める際の参考として活用するよう、各部署へ周知します。第5次計画実施状況の報告の中で、活用状況が示されるものと考えています。</p>                                                  |

3 今回頂いた意見（1・2を除く。）

|                                                                                                                                                              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>目標 施策2について、「興味がない人にも届く方法」を、分かりやすく具体的な例示をもって促進する必要がある。</p>                                                                                                 |
| <p>目標 施策4「メディアにおける人権の尊重」に関連して、「表現の自由」だけが周知され、人権を守るための教育が不足していることが原因ではないかと考える。</p>                                                                            |
| <p>社会・家庭における男女平等の考え方が子供たちに根付くためにはどうするべきか、大人の努力が必要である。</p>                                                                                                    |
| <p>目標 の評価が一番低いが、男性の家事・育児等への従事時間が少ないことに起因していると思う。向上のためには経営者の意識改革が肝要であり、事業者向けの啓発活動やインセンティブが高まる事業の推進を期待する。</p>                                                  |
| <p>目標 の指標「男性の家事・育児等への平均従事時間」が少な過ぎる。</p>                                                                                                                      |
| <p>目標 施策2「女性の就労、再就職、能力開発に関する支援」について、就労する側の環境や立場などを考慮した就労の男女平等、女性の就労支援に重きを置いた施策が重要である。</p>                                                                    |
| <p>ジェンダーギャップ指数は世界153ヶ国中121位である。この現状を変更するには「積極的格差是正」が必要であり、SDGs 5番「ジェンダー平等を実現しよう」を前面に掲げていく必要を感じる。</p>                                                         |
| <p>公立校での女性管理職について、男女に関係なく適任者が管理職になるのが当然という時代に早くなってほしい。</p>                                                                                                   |
| <p>目標 の施策1について、委員名簿に女性比率を明記してはどうか。</p>                                                                                                                       |
| <p>目標 「あらゆる場における男女平等への理解と共同参画」の推進について、男女平等を謳うよりも、「すべての人が平等に扱われ共同参画できる世の中を作る」にすべきではと思う。本当に大事なのはあらゆる人が同じように性別・年齢・国籍等によって差別を受けない世の中作りであり、男女平等はその中の一つの項目である。</p> |

目標 「ひとり親家庭への支援」に関連して、ひとり親家庭施策の担当課と保育課の連携が、個人情報保護のため取れていない。

目標 の「65歳健康寿命の延伸」に関連して、若い人に重きを置いた福祉と教育の無償化を望む。

目標 の「65歳健康寿命の延伸」に関連して、人生100年時代という表現をよく耳にするが、若者にプレッシャーを与えるのではないか。

課題の焦点を「性と生殖に関する権利」に当てると、どの世代もプレッシャーを感じることなく未来を描けるのではないか。

目標 について、難しいと思われないためにスローガンを掲げるなどしてはどうだろうか。

目標 に関連して、コロナ禍の中人の集まりが阻まれ、男女共同参画推進施策の新たな取組を実施しなければならないという課題が生まれた。